

1 研修計画の概要

1 研修の全体像

【定例研修】

知的財産 専門家を育成	知財技術スタッフ研修：A、B、C、D、Eコース
	<p>知財専門家としての知識、スキルを向上し知財専門家を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初心者～中堅実務者 → 法律ルールの必要知識を学習 ● 上級者～専門家 → 法律解釈、審判決動向など研究

知的財産に 強い技術者 を育成	技術者対象研修：Gコース
	<p>研究開発段階から知財を意識できる、知財に強い技術者を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新入社員から技術部門マネージャまでの年代別に研修を整備 ● 知財知識 + 演習によるスキルアップ

国内・国外の 知的財産権を知る	総合研修：Sコース
	<p>知的財産権をめぐる国内あるいは国際的な環境変化を的確に把握するために必要な重要事項と動向について、最新の情報、豊富な実例により講義</p>

グローバルに 対応	グローバル研修：W、F、Mコース
	<p>ーグローバルコース（Wコース）ー グローバル化する企業活動の知財スタッフとして、どのように経営に貢献していくか、支援していくか等を考え、その企業目的を達成すべく知財関連知識を習得する。</p> <p>ー海外現地研修コース（Fコース）ー グローバル化対応の知財スタッフを事前・事後研修と現地体験研修によって育成。 ● 米国、欧州、中国、インド、アジア</p> <p>ー海外オンライン研修コース（Mコース）ー 双方向ディスカッションにより、英語コミュニケーション能力と欧米知財知識を習得。</p>

経営的視点を 養う	経営感覚人材育成研修／知財実務英語研修：Tコース
	<p>経営的視点で知財を考え企業経営に知的財産を活かすことのできる知財変革リーダー、知財戦略スタッフなどを育成／知財実務英語コミュニケーション能力を習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知財知識だけでなく、経営自体を学ぶ／英語コミュニケーション能力を習得 ● 自らの意識改革のみならず組織変革を遂行する知財リーダーを育成

【臨時研修 他】

ニーズ・話題の テーマ	臨時研修：Jコース
	<p>時代の変化・ニーズに対応した各種の話題テーマに関する研修を実施</p>

会員のニーズ	出張型研修
	<p>会員企業のニーズに合わせた研修内容で、講師を派遣して研修を実施</p> <p>* ご相談は人材育成グループまで</p>

2 協会研修の特徴

この協会研修の大きな特徴は次の3点です。

- **第1の特徴：人物像を踏まえた、体系化され、毎年開催される研修である。**

知財に係る人物像とそのための研修コースは前項（1）に示す通りです。
約100コースが定例化されています。

- **第2の特徴：最新状況に応じてアップデートされた、実学の研修である。**

制度/法改正や社会事情の変化を踏まえ、人材育成委員会が講師や協会専門委員会の協力を得て、研修内容を実学に役立つよう常にアップデートしています。特に臨時コースは、時宜に適った研修を提供しております。

- **第3の特徴：臨時研修・出張型研修を用意している。**

時代の変化・ニーズに対応した臨時研修、各会員企業のご要望をお聞きして、ご要望に沿った出張型の研修を提供しております。

3 研修様式

研修内容に併せて次の3様式で開催します。

- **PCライブ研修**

リアルタイムの講義をWebで視聴できます。（定例研修C、D、G、S、Wコース、臨時コース）

- **オンデマンド研修**

定例研修A、Bコースなど基礎・初級コースについては、録画した講義を配信期間中いつでも、好きな場所で視聴できるオンデマンド研修にて提供します。

- **集合型研修**

定例研修Eコースなど、ディスカッション・グループワークを伴う研修を中心に集合型研修を実施します。

4 人材育成プログラムの見直しポイント

【改編・新設】 B、Cコース 充実化!!

定例研修コースとして、「B21：企業における知的財産管理実務（Basic）」を新設し、B初級コース群を充実化しました。

さらに、「C9F：中国特許調査講座」、「C24：特許発明の技術的範囲について（化学）」、「C26：特許発明の技術的範囲について（電気・機械）」、「C28：組織内対話力（入門）」を新設し、C中級コース群のコンテンツを充実化しました。

詳細は各コースのページをご覧ください。

【充実化】 交渉学!!

「C15：交渉学（入門）」、「D15：交渉学（応用）」、「E15：交渉学（極み）」と交渉学シリーズが、中級、上級、研究コースでコンプリート！ 初級者からベテランまで受講できます。

【海外オンラインコース】 米国・欧州（ドイツ）・総合

「M01：米国」、「M02：欧州」、「M03：総合」の3コースを定例化しました。双方向ディスカッションにより、英語のコミュニケーション能力と欧米の知財知識を学べます。

【モデルプラン】 営業部門・事務管理部門メンバーへのご提案

JIPA研修といえば、知財部門・技術開発部門の方のご利用が中心ですが、会員企業従業員の方であればどなたでもご利用いただけます。

今や知的財産に関する知識は、グローバルな事業展開を行う上で、どのような部門で働く方にとっても必須の知識です。

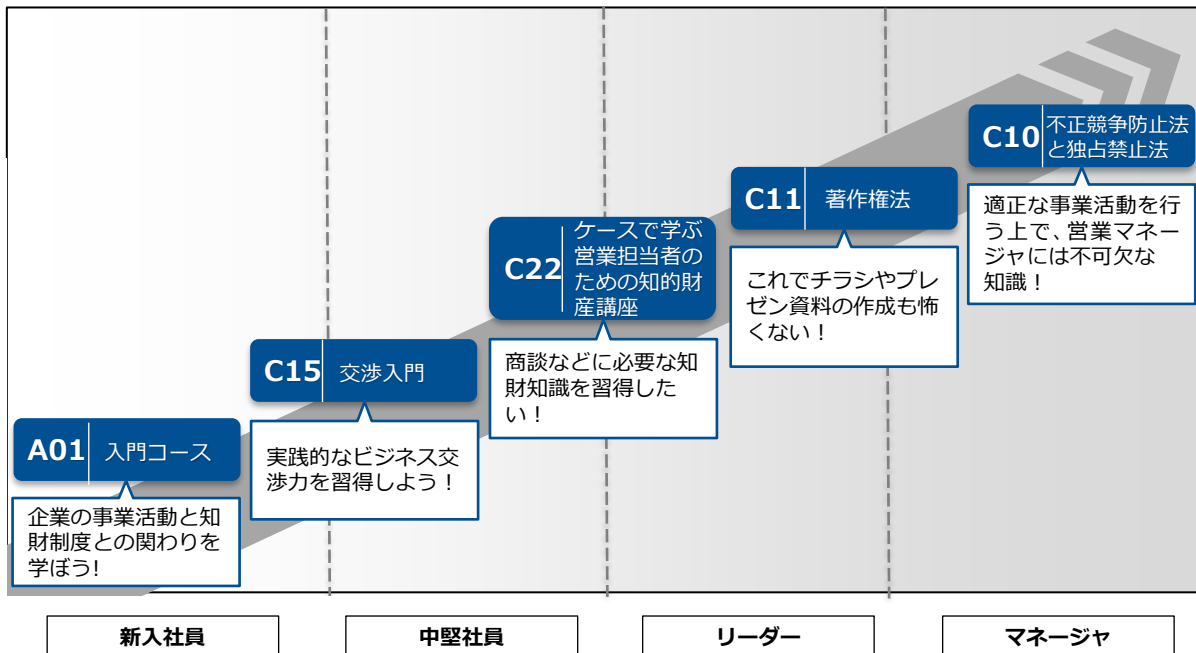
研修ラインナップの中から、知財や技術開発部門以外の方にも自信を持ってお薦めできるコースの一例を紹介しています。詳細は「知財部門・技術開発部門だけじゃないJIPA研修」をご覧ください。

当協会の研修は、主として知財部門や技術開発部門向けに豊富なコースを取り揃えていますが、今や知的財産に関する知識は、国内外を含めたグローバルな事業展開を行う上で、どのような部門で働く方にとっても必須の知識です。

実は当協会の研修ラインナップの中には、知財や技術開発部門以外の方にも自信を持ってお薦めできるコースが多数あります。ここでは営業部門、総務や経理などの事務管理部門の方にとって有益な推奨研修コースの一例を紹介します。

業務の更なるレベルアップを図る機会として、是非一度JIPAの研修コースを体験して頂き、職場の方にも受講を勧めて下さい！

営業部門の方の推奨研修コース



事務管理部門の方の推奨研修コース

